NEWS RELEASE

２０２５年１１月１８日
岡山放送株式会社

報道関係各位

フェリーをユニークベニューに！「WONDERFUL SOLUTION PROJECT」実証実験スタート

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井2-10-12 以下OHK）は、両備グループが推進する社会課題解決プロジェクト「WONDERFUL SOLUTION PROJECT（ワンダフルソリューション プロジェクト）」で採択を受けた観光再定義の取り組み「フェリー de ユニークベニュー 実証プロジェクト」の実証実験を11月15日に開始しました。

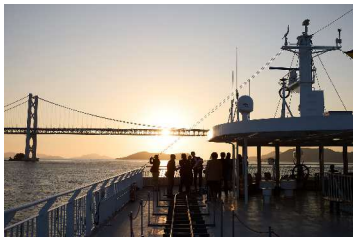
瀬戸内の離島航路は、地域住民の生活を支える公共交通でありながら、利用者減少により公共交通の維持が大きな課題となっています。瀬戸内国際芸術祭などの大型イベント終了後も、持続可能な送客を自らが生み出す仕組みが求められています。本プロジェクトでは、公共交通フェリーというリソースを最大限に活用し、単なる移動手段ではなく、特別な体験を提供する「ユニークベニュー」として再定義することで、乗船料以外の新たな収益モデルを創出し、地域交通の活性化と観光振興を目指しています。船上でのウエディング、企業研修、商品発表会、展示会、サンプリングイベントなど、多彩な企画を定期的かつ継続的に展開し、乗客の反応やニーズ、運営上の課題を検証します。

「ユニークベニュー」は、国が観光立国戦略の中で推進する新たな地域資源です。瀬戸内の美しい海と島々（景観）×公共交通フェリー（移動）＋イベント（体験）という三位一体のモデルを確立することで、MICE市場やインバウンド市場への展開可能性を探ります。

実証実験の初回となる11月15日には、高松港を出発したチャータークルーズ「おりんぴあ どりーむせと」（国際両備フェリー）の船上で、香川県坂出市の人気うどん店「日の出製麺所」三代目・三好修氏の著書『うどん以上のことはできません』の出版記念パーティーを開催し、約150名が参加しました。パーティーでは、フェリー船内にステージや装飾を設え、サービススタッフを配置した上で、本格的なパーティー料理を提供しました。また、今後の事業化を見据え、船内でのライブ配信や来場者の乗船案内・誘導などのオペレーションを確認したほか、ドローンによるプロモーション動画の撮影も行いました。
船上パーティーについて、実行委員会の大薮英基氏は「これまで身近な移動手段としか捉えていなかったフェリーが、こんな素敵な非日常の空間に様変わりするなんて想像していなかったです。ご参加いただいた皆さんにとっても、記憶に残るパーティーとなったと思います。」とコメントしています。

このプロジェクトは、創立115周年を迎えた両備グループが岡山や瀬戸内、さらに日本の未来を良くするため、社会課題の解決に取り組む活動を支援するものです。今回の実証実験は、両備グループ、OHKグループ、高松市のフェアリー・テイルの3社が、それぞれのノウハウを共有しながらコンソーシアム方式で共同実施します。今後も船上で様々な企画を展開し、2026年度中に実証実験の検証結果をまとめる予定です。

＊ユニークベニューとは、歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと。



【本件に関する問合せ】岡山放送株式会社 企業広報担当山下　TEL ０８６-９４１-８８８１